



平成27年1月8日

各位

上場会社名 ファーマライズホールディングス株式会社
 代表者 代表取締役社長 大野 利美知
 (コード番号 2796)
 問合せ先責任者 専務取締役執行役員 秋山 昌之
 (TEL 03-3362-7130)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成26年7月15日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成27年5月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成26年6月1日～平成26年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	19,200	350	230	5	0.56
今回修正予想(B)	19,307	522	410	95	10.55
増減額(B-A)	107	172	180	90	
増減率(%)	0.6	49.1	78.3	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年5月期第2四半期)	18,393	732	613	192	25.69

平成27年5月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年6月1日～平成27年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	39,500	1,020	800	125	13.89
今回修正予想(B)	39,600	1,230	1,020	250	27.77
増減額(B-A)	100	210	220	125	
増減率(%)	0.3	20.6	27.5	100.0	
(ご参考)前期実績 (平成26年5月期)	38,221	1,572	1,272	369	46.55

修正の理由

(1) 平成27年5月期第2四半期累計期間

平成27年5月期第2四半期累計期間におきましては、平成26年4月に実施された薬価改定、調剤報酬改定、消費税増税を前提に厳しい事業環境を想定し、期首から調剤売上高の維持・拡大、売上原価や販管費の削減による採算性の維持・向上に努めてまいりました。

この結果、売上高につきましては、地域医療(在宅医療・施設調剤)や後発医薬品の取扱い強化等により技術料売上が予想を上回る等、主力である調剤薬局事業の売上高が堅調に推移し、売上高合計は前回予想を上回る見通しであります。また、利益面につきましても、手数料収入となる技術料売上の増加により採算性が向上したほか、仕入・在庫管理の見直し・徹底や経費節減努力により売上原価、販管費の削減を図り、利益水準が前回予想を上回る見通しとなったため、上記のとおり業績予想を修正いたします。

なお、平成27年5月期第2四半期累計期間におきましては、前期にM&Aで取得した株式会社鬼怒川調剤センターと株式会社エシックスの決算日を連結決算と同一日に変更し、決算日変更に伴う調整期間の実績を追加計上しております。当該追加計上を除いた売上高合計は、調剤薬局事業の売上高が堅調推移するなか、前回予想とほぼ同水準に留まりますが、これは、その他の事業の店舗開店が当初予定より遅れた影響等を受け、同事業の売上高が予想を下回ったことによるものであります。

(2) 平成27年5月期通期

平成27年5月期通期の業績につきましては、平成27年5月期第2四半期累計期間の業績が前回予想を上回ったこと、また同累計期間の実績から今後についても売上原価の低減等が見込まれることから、前回予想を上回る見通しであり、上記のとおり業績予想を修正いたします。

(注)上記の業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上